

National Police Agency

警察庁

Recruiting guidebook

警察庁事務官採用案内 2023

採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03) 3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩1分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区 北二条西7丁目	(011) 251-0110 内線6032	JR「札幌駅」下車 徒歩15分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟15階	(022) 221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03) 3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館22階	(048) 600-6000 内線2636	JR京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052) 951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「市役所駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区大手前3丁目1番41号	(06) 6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線・大阪メトロ中央線 「谷町四丁目駅」下車 徒歩2分
中国四国管区 警察局警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082) 228-6411 内線2632	JR広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087) 821-3111 内線2632	JR「高松駅」下車 徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092) 622-5000 内線2632	JR「吉塚駅」下車 徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線 「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分

National Police Agency

警察庁

Recruiting guidebook

警察庁事務官採用案内 2023

国家公務員採用一般職試験

(大卒程度・行政区分／高卒者・事務区分)



警察庁事務官について

警察庁事務官は、特に、庶務、給与、会計、福利厚生、鑑識資料の登録等の業務において、その中核となって活躍する存在であり、犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する事務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当とする警察庁技官と一体となって、警察行政を担っています。

警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と各管区警察局又は東京都若しくは北海道警察情報通信部で採用される場合とがあります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。



National Police Agency

Contents

第1部 組織紹介

警察機構図 4

第2部 警察庁本庁

活躍のフィールド 7

職員からのメッセージ 9

若手職員Q&A 10

職員の日 11

第3部 管区警察局 東京都・北海道警察情報通信部

活躍のフィールド 13

職員からのメッセージ 15

若手職員Q&A 16

職員の日 17

第4部 特集

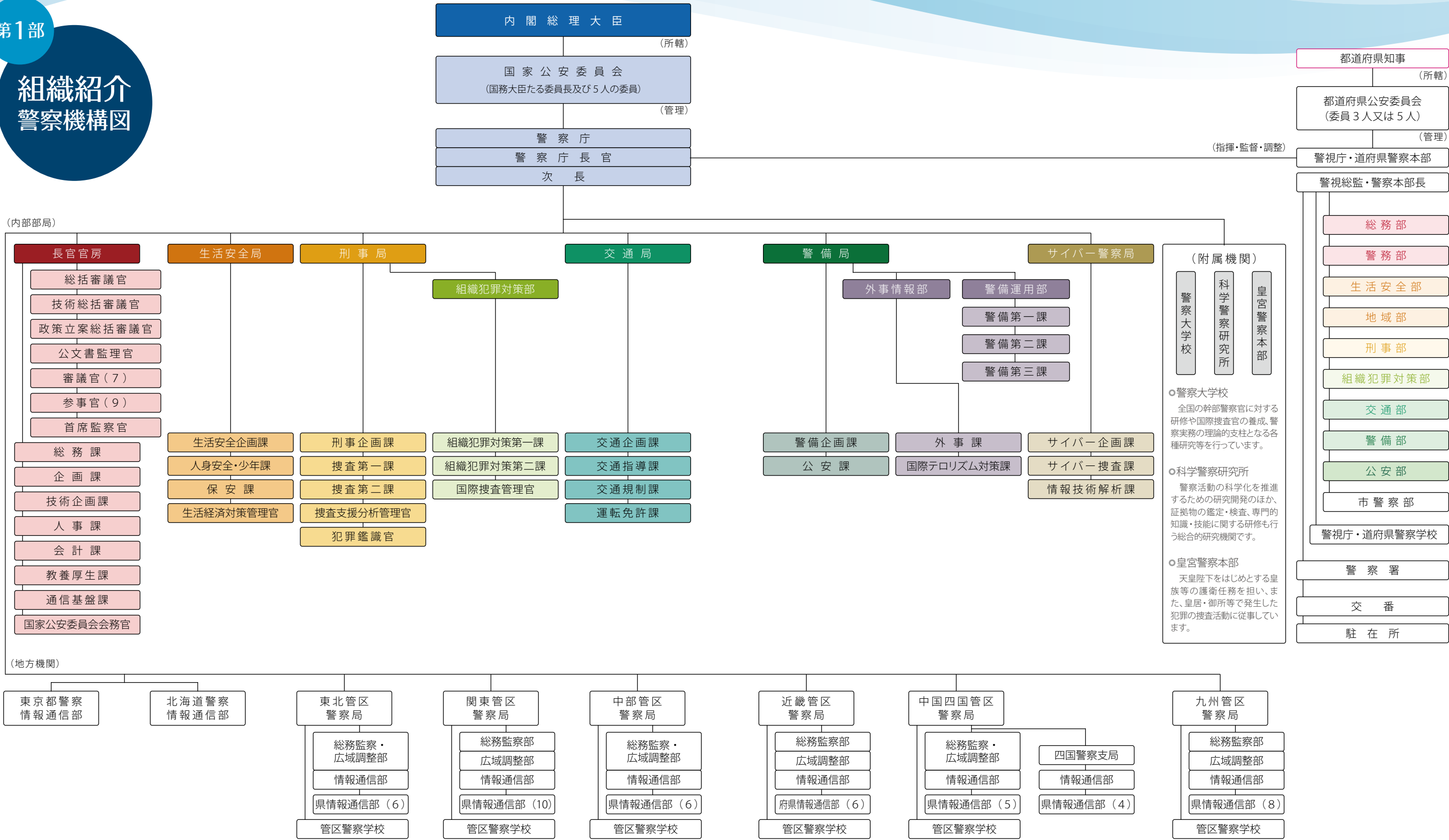
ワークライフバランス

仕事と育児の両立のための支援制度 18

勤務地等についてのQ&A 19

第1部

組織紹介
警察機構図



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは、他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO（国際刑事警察機構）への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

第2部

警察庁本庁

警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中核機関であり、各種施策の企画立案等に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。

活躍のフィールド

人事課 係員 平成27年入庁

私は人事課給与係の一員として給与に関する業務に携わっております。

給与係の業務は、職員の給与及びボーナスの支給、通勤手当や住居手当等の諸手当認定、年末調整など多岐に渡りますが、その中で私は職員の昇給・昇格に関する業務や、困難な業務を行う官職の給与改善要求を行うなど、警察職員の処遇改善を図るための業務を行っております。

制度関係の業務を担当しているため、都道府県警察等の関係機関からの質疑を受ける機会がありますが、誤った回答は出来ないのので、関係法令を一から学びながら、また、豊富な経験を持つ頼りになる上司や先輩方に支えられながら日々業務を行っております。

警察庁事務官は、幅広い分野の業務に携わることができ、自身も成長できるとてもやりがいのある仕事です。警察職員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしております。

警察行政を担う一員として



警備第二課 係員 令和2年入庁

私は警備第二課庶務係として主に出張旅費の請求手続き、勤務時間管理、給与厚生を担当しています。

国家公務員は勤務制度や休暇制度が充実しているため、課員の希望に応じた休暇や勤務形態を提案し、ワークライフバランスのサポートをするなど勤務時間管理業務を担っております。また、コロナ渦が明け、全国各地で行事の開催が増加しているに伴い警備の機会も増え、様々な出張を取り扱っています。中でもG7サミットや行幸啓など大きな行事の事前調査に係る出張行程確認や旅費請求手続きを行ったことがとても印象に残っており、縁の下でそのような行事に携われることにとってもやりがいを感じますし、警察庁ならではの貴重な業務経験をさせていただいております。

警察庁事務官の魅力は、物品管理や契約業務、更には統計、広報などの業務もあるため、多種多様な分野に挑戦し活躍出来る場所であり、時には歴史的な瞬間を味わうことが出来るのも魅力の一つです。

皆さんも警察庁で自分自身が輝ける場所を見つけませんか。

治安維持のサポーターとして



犯罪鑑識官付 係員 平成31年入庁

犯罪鑑識官では、指紋、掌紋、足痕跡、DNA型、被疑者写真等の資料の分析、照合等の鑑識に関する業務を行っています。私は、指掌紋登録係として、全国の警察署から送信されてくる被疑者の指掌紋を照会・登録し、身元の特定や犯罪経歴を確認するなどの業務を行っています。

被疑者の指掌紋は、指掌紋自動識別システムに登録し、犯罪現場等で採取された指掌紋と照合し、最終的に人間の目で異同識別を行い、犯人を割り出します。近年では、事件解決における手がかりとして、客観的証拠が重要視されており、指掌紋の照合は、事件解決に直結する重要な役割を果たしているのです。

これらの業務は、迅速かつ正確な処理が求められ、極めて高い集中力が必要ですが、専門的な知識を身につける中で、事件解決の一端を担っていると実感でき、強い使命感を得られ、大きなやりがいを感じます。

安心して国民が生活できるよう、我々と共に全力で業務に取り組み、現場で活躍されている全国の警察官の手助けを行う仕事をしてみませんか。



事件解決への一端を担う

サイバー企画課 係員 平成29年入庁



やりがいを感じられる仕事

私は、警察庁幹部の秘書として、来客対応や決裁の受付、スケジュール調整等、幹部を補佐する業務を担当しています。

こうした業務は、多忙な幹部が仕事に集中できるよう、いま何を求めているのか、どうすれば効率よく進められるかなど、常に先回りして物事を考えられる力が必要になります。また、担当する幹部によって求められる内容が異なってくることも大きな特徴です。

秘書の言動や室内の雰囲気は自分だけで無く、警察庁や幹部のイメージにもつながるため、緊張感や清潔感を大切にしています。時には、難しい調整等で頭を悩ませることもありますが、その中で感謝の言葉を伝えられたときや、自分への信頼感が感じられたときには、大きなやりがいを感じます。

警察庁事務官は、秘書業務以外にも多くの業務が存在し、それぞれが警察活動を支える上で重要な役割を担っています。また、警察庁では、日本全国の警察職員と仕事ができることから、自分の視野や世界が広がり、人として成長することもできます。

皆さんと一緒に働ける日が来ることを、心待ちにしております。

職員からのメッセージ

会計課装備室長 関口 悟史
Sekiguchi Satoshi

経 歴	
昭和57年4月	入庁
平成21年3月	沖縄県警察本部会計課長
平成23年3月	警察庁会計課会計監査官
平成25年3月	警察庁会計課管財専門官
平成26年4月	警察庁会計課課長補佐
平成27年3月	中国管区警察局会計課長
平成29年3月	警察庁会計課課長補佐
令和 2年3月	関東管区局会計課長
令和 3年4月	警察庁会計課工場長
令和 5年3月	現職

現在、私が勤務する会計課装備室は、室長以下30名体制で、現場の警察活動で使用するパトカー・白バイを始めとする各種車両、水上のパトロールや水難者の救助等を行う船舶、大規模災害発生時に官邸等へ映像を配信するヘリコプターの整備や警察官が使用する拳銃、機動隊員が使用する個人装備資機材等を整備するとともに、現場のニーズに応えるため各種装備品の開発、改善に取り組んでいます。警察官、事務官及び技官がそれぞれの立場での経験を生かし、現場からの要望や関係者からのヒアリングを行い、係内で検討を重ね、予算の要求、配賦及び執行や契約した車両や銃器等装備品の納入検査をするなど、いわゆる警察装備の入口から出口までを活発に意見交換しながら、明るく楽しい環境で日々業務に取り組んでいます。

私は、30年あまり会計分野で勤務していますが、会計課着任早々に上司から、「会計の仕事は兵站業務である」と教えられました。初めて聞く言葉なので意味を調べたのを思い出します。「兵站（へいたん）」とは、軍事用語で補給、輸送、管理という3つの要素から成り立つ軍事業務で、戦闘地帯へ後方から必要な物資や人員を配置するといった活動全般を指し、軍事学では、「戦争の素人は戦略を語り、戦争の玄人は兵站を語る」という格言があり、「兵站」の重要性を語っている。「必要なもの



「現場のため」「国民のため」

を」「必要なときに」「必要な量を」「必要な場所に」補給することはロジスティクス（兵站）の要諦であるとされている。軍事や戦争という言葉は警察や警備等に置き換えるとわかりやすく、会計業務や装備室の業務は、正に兵站業務といえ、現場活動を行う上で重要で欠かせない業務であるといえます。

例えば、現場の警察官が犯人と対峙した場合、古くて重たい防弾チョッキやヘルメットよりは、軽くて防弾性能がよいものの方が、動きやすくより積極的な職務執行が期待できます。このように装備資機材の整備は、現場活動を行う警察官を支える業務であり、結果、国民を守ることにつながることとなります。警察業務でも兵站業務は重要であり、事務官であっても治安維持の一翼を担えると思います。

近年、インターネットが国民生活に定着する中、サイバー攻撃は国の治安、国民に対する脅威となっており、また、テロ組織と関わりのない者が銃や爆発物を使用した重大事案を起こすなど、新たな犯罪も後を絶ちません。警察庁では犯罪や事故等から国民を守るべく各種対策に一元となって取り組んでいます。

治安を守りたい、国民を守りたいと考えている方は、是非とも警察庁事務官として、やりがいと達成感を感じながら、一致結束した組織で充実した仕事を一緒にやりましょう。

若手職員
Q&A

Q

入庁の
決め手は？捜査第一課 係員
令和4年入庁

A 全国警察の中枢であり、警察行政の基盤を支えるという大きな規模で仕事ができる警察庁に魅力を感じ入庁を決意しました。また、官庁訪問の際、緊張していた私を見た先輩職員の方が積極的に雑談してくださったことで、緊張をほぐすことができました。その時の先輩方の、周りを見て行動し、親切に接する姿に強い魅力を感じました。そこで、「私もこのような方がいる職場で働きたい」と強く思うようになり、入庁したいという決意が固まりました。

Q

今の仕事の
内容と苦労して
いる点は？捜査支援分析管理官付 係員
令和3年入庁

A 私は現在、犯罪統計業務を行っております。毎日都道府県警察からさまざまな犯罪情報のデータが届き、その内容に誤りが無いか審査をしています。犯罪統計は日本の治安状況を国内外に示す重要な統計となっており、正確性が求められています。

業務上、法律の知識が特に必要となっており、入庁当初は知識も無かったので大変苦労しました。業務を通じて学ぶことや、上司や先輩にサポートしていただき、分からないこともあります。やりがいを感じながら日々業務に取り組んでいます。

Q

職場の
雰囲気は？組織犯罪対策第二課 係員
令和3年入庁

A 警察組織は「男社会」「上下関係が厳しい」というイメージが強いと思います。しかし実際は業務内容や職場の雰囲気も性別に縛られることなく、女性はもちろん、誰もが十分に活躍できる場となっています。上司や先輩方は仕事の悩みからプライベートについてまで親身になって話を聞いてくださり、とても働きやすい環境です。勤務所属や年齢等に関わらず、気さくに話してくださる職員に囲まれ、真剣に業務に取り組む中でも楽しく充実した毎日を送ることができる職場だと感じています。

Q

志望者への
メッセージ保安課 係員
令和4年入庁

A 警察庁事務官は、最前線で働く職員が安心して業務に取り組めるようサポートをする大切な役職であり、警察組織の基盤を支えるという大きなやりがいを感じながら働ける仕事です。一人一人が誇りと使命感を持って日々の業務を行っています。また、休暇を取得しやすい職場であり福利厚生も整っているため、気分転換をする機会も多く公私ともに充実した生活を送ることができます。

皆さんも警察組織の基盤を支える一員として一緒に働いてみませんか。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

職員の1日

会計課 係員
平成27年入庁9:30
出勤

朝は子供を保育園に送ってから出勤するため、遅出勤を活用したりしています。警察庁ではワークライフバランスの観点から出勤時間を自由に選択し個人の時間を有効活用できる仕組みになっています。通勤の際は音楽を聴いたり、動画を見たりと仕事へのモチベーションをあげています。

10:30
打合せ

契約業者との打合せを行い、今後の方針や現状の問題点をあげ、業務が円滑に進むよう意見を申し合います。私は係員で未熟な部分もありますが、上司は私の意見も尊重し話を聞いてくれますし、的確なアドバイスも頂けるのでとても働きやすい職場だと感じています。

12:00
昼食

昼食はコンビニや弁当を購入して食べています。気分によって選べるようにたくさん種類があるので迷いますが楽しみの1つです。昼休みはゆっくり過ごし、また気持ちを切り替えて午後の業務に臨みます。

14:00
現地視察

警察施設の現地調査を行い、修繕箇所や法定点検項目のチェック、物品の点検等を行います。現地調査を行った後には職場に戻り資料作成を行い、上司の確認を経て契約手続きへと移行します。実際に契約手続きを行い、修繕が完了するまでの一連の流れを完了できるとやりがいを感じます。

18:15
退庁

繁忙期は帰りが遅くなることも多いですが、基本的には定時で退庁しています。退庁後は自宅でゆっくり過ごし、翌日の仕事に備えます。休日前だと同僚と食事にいたり、趣味に時間を費やしたりと自分のリフレッシュもできます。

休日の
過ごし方

休日は家族で出かけることが多いです。動物園や水族館など家族で楽しめる施設が多くて行きたい場所が尽きません。また、土曜日は温泉やレジャー施設に日帰りで行き、日曜日は疲れをとるために休むこともできます。娯楽があると翌週からの仕事のモチベーションアップにも繋がるため積極的に外出しています。

第3部

管区警察局
東京都・北海道警察
情報通信部

管区警察局とは

警察庁の地方機関であり、警察庁と管区警察局の管轄区域内にある各府県警察本部との重要なパイプ役、調整役を果たしており、各府県警察の要請と全国又はその地域一体の警察運営の調整を図るなどしています。
全国には、6つの管区警察局（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州）と1つの支局（四国）があり、管区警察局には附置機関として、管区警察学校があります。

東京都・北海道警察情報通信部とは

東京都警察情報通信部及び北海道警察情報通信部は、情報通信部門の地方機関のうち、管区警察局の管轄に属せずに警察庁が直轄する組織として置かれています。
なお、東京都及び北海道以外には、管区警察局の出先機関として府県情報通信部が置かれています。

活躍のフィールド

東北管区警察局通信庶務課 主任 平成31年入庁

私は現在、東北管区警察局において通信庶務課の人事・給与・教養係として採用関係等の業務を担当しています。具体的には新規採用職員研修会の企画や業務説明会の実施、広報資料の掲載、民間就職サイトの掲載、人事異動関係業務、各県情報通信部の給与関係の照会対応などの業務を担当しています。
いずれの業務も職員の生活に直結するものが多く、責任や難しさを感じる場面も多いですが、係内で相談し合いながら、慎重かつ正確に業務を行うことを心がけています。
採用される前は、警察に対して堅苦しいイメージを勝手にもっていました。入庁5年目となり、これまでの勤務を振り返ってみると、温かい上司、同僚、後輩に支えられながら、「治安の維持」という一つの目的に向かって充実した時間を過ごしてきたのだと実感しています。正義感溢れる皆さんとともに働くことができる日を楽しみにしています。

警察組織の一員として



中部管区警察局愛知県情報通信部通信庶務課 主任 令和2年入庁

私は現在、愛知県情報通信部の資材係として、物品管理に関する業務を担当しています。物品管理とは、物品の購入計画、処分、警察官が使用する無線機の貸出などが例として挙げられます。資材係はこのような業務を通じて、物品を良好な状態で管理し、効率的に使用していくことで警察活動を支えています。
国内で大規模なイベントが行われると、資材係は警察官の警備活動を支えるために無線機などの多くの物品を必要とする他所へ支援する業務が発生します。東京オリンピック・パラリンピックが開催された際は、上司や所属内の技術系職員の方、県警察の方にも支えられながら無事業務を終えることができ、達成感を感じるとともに、国を挙げて行われている大規模なイベントに自分も関わっているのだ、というやりがいを感じました。
警察庁事務官はほかにも様々な業務がありますが、どれも共通して国民を守る警察の活動を支えるための大切な業務です。警察職員として、私たちと一緒に働いてみませんか。

警察活動を支える員として



関東管区警察局サイバー特別捜査隊 主任 平成30年入庁

私は現在、サイバー特別捜査隊の庶務係で勤務しています。サイバー特別捜査隊は、国民の生活を支える重要インフラへのサイバー攻撃といった重大サイバー事案への対処を担う国の捜査機関です。私は隊の警察官が重大サイバー事案の捜査に従事する際やサイバー関連の国際会議に出席する際に発生する旅費の支給業務等を担当しています。昨年度までは、給与支給業務や県警察の給与業務に対する指導など、全く異なる仕事をしていたため、現在の旅費支給業務に苦労することもあります。上司や同僚に協力してもらいながら、業務を進めています。
私たち警察庁事務官は、現場で働く警察官や技官と違い、警察活動に直接関わることは少ないですが、警察官や技官をサポートすることで、警察活動を円滑に進める一助になることを心がけ、日々の業務を行っています。
日本の治安を守る警察職員の一員として、皆さんがこの職場に来てくれることを楽しみにしています。

警察活動を支える仕事



近畿管区警察局会計課 主任 平成31年入庁

私は現在、会計課管財営繕係で施設や国有財産の維持管理に関する業務を担当しています。「維持管理」と一言と言っても、施設の工事や管理などに係る契約手続、他府省庁との調整、システムでの登録作業等、業務は多岐にわたります。今後も長く残るものであり大きな金額を扱う緊張感がありますが、より良い環境づくりの一端を担えることにやりがいを感じています。

また、近畿管内の警察機関を取りまとめる部局でもあるため、府県警察から様々な問い合わせもあり、業務上の困りごとをサポートする責任ある立場として、法令や参考図書から調べ、それでも不明なときは警察庁へ問い合わせるなどして、適切な回答ができるよう努めています。解決できた際の達成感はもちろんですが、問い合わせ元から感謝の言葉を頂いた時には何より嬉しく思います。

警察庁事務官が行う仕事は現場を支える仕事であり、警察活動の円滑な運営に必要不可欠な存在です。誇りを持てるこの仕事を皆さんと一緒にできることを期待しています。



九州管区警察局熊本県情報通信部通信庶務課 係長 平成30年入庁

私は、庶務係として、職員の給与や福利厚生関係の業務を担当しています。業務遂行にあたっては、適正かつ迅速に行うよう心がけており、特に給与の支払いについては、間違いのないよう細心の注意を払っています。給与や福利厚生関係は、職員の生活に直結するものであり、職員から質問を受けることが多々あります。福利厚生関係においては、年金制度、保険関係等多岐にわたり、日々の勉強が欠かせません。質問された内容で知識に乏しい場合に、その内容について勉強し、職員へ資料を作成した上で説明を行い、理解できたと喜んでもらえると、非常に達成感があります。

警察庁事務官は、警察官や警察庁技官の仕事を様々な面でサポートしており、表舞台で活躍する機会は多くありませんが、円滑な警察活動を行う上で重要な役割を担っており、大変やりがいのある仕事です。皆さんも警察組織の一員となって、国民の安全安心な暮らしに貢献する警察庁事務官として一緒に働いてみませんか。



職員からの
メッセージ

昭和60年4月に採用され、勤続38年警察組織に在籍し、現在、愛知県小牧市にある中部管区警察学校に、庶務課長の役職で勤務しています。

中部管区警察学校は、幹部の教養機関として、管区内各県警察（富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県）の中核となる警察官（警部補・巡査部長の階級）と一般職員（係長・主任の役職）の昇任時教養を行うとともに、専門的警察業務に関わる教養をおこなっています。

学校の組織は、学校長の下、庶務部、教務部、指導部に分かれ、警察官と警察庁事務官・警察庁技官が勤務しています。私が所属する庶務部庶務課は、学校運営の多岐にわたる庶務的業務、校内の総合調整的な企画業務、公用車両の運用管理や制服等装備品の使用管理を担当する車両・装備業務、そして、職員の給与と福利厚生にかかる業務等、警察庁事務官が中心となって業務を行っています。

警察官や一般職員の教養機関であることから、入校学生の現場を見据えた授業や訓練など、日々活気があり、季節を感じることが出来る広大な敷地内の勤務環境に充実しています。

今までの経験が自分の糧となり、主任、係長、課長補佐、課長の役職ごとに経験を活かすことができ、やりがいがあります。今は、庶務課長として、目標など生きがいを持つ、そして、気持ちに余裕を持つことを心掛けています。課員や他の職員とのコミュニケーションもモチベーション向上に繋がっています。

国家公務員である警察庁事務官として、ワークライフバランス等推進施策している警察組織で活躍してみませんか。



私が勤務する徳島県情報通信部は、中国四国管区警察局の出先機関の一つとして、徳島県警察と連携し、県民の安全・安心を守るため第一線の警察活動を情報通信の面から支えている部署です。

部の体制としては、主に警察庁事務官で構成されている通信庶務課、主に警察庁技官で構成されている機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の4課があります。

警察庁事務官の業務は、デスクワークが主ですが、通信庶務課には庶務・経理・資材の3つの係があり、庶務係は職員の人事給与、健康管理や行政文書の管理など、経理係は通信工事に係る契約、各種支払、職員の旅行命令・請求、国有財産の管理など、資材係は通信物品の管理計画（購入、処分、管理換等）や物品の管理状況検査など、非常に多岐にわたっています。また、管区局（支局）や県警との連絡調整の窓口となり、縁の下の力持ち的存在に見られがちですが、警察組織において無くてはならない存在だと自負しています。また、事務官であっても機動警察通信隊員に指名されれば、警衛警備や災害時の通信対策要員として現場活動に赴くこともあります。

私自身、情報通信部での勤務年数はそれ程長くありませんが、これまで他管区や県警に出向した経験を活かし、幹部として業務が円滑に回るよう、また、楽しく仕事ができるよう積極的にコミュニケーションを取り、より良い職場環境を目指し努力しています。

警察庁事務官になってくれる方お待ちしています。是非一緒に仕事をしてみませんか。

若手職員
Q&A

Q 入庁の決め手は？

A 大学で警察局的説明会があり、警察庁事務官は、行政職員として国民の皆様の安全・安心に寄与できると知り、関心を持ちました。職員の方とお話するなかで、警察庁事務官は、一人ひとりが警察活動の一端を担い、管区内や全国の治安に関わる重要な仕事に携わることを知り、警察庁で仕事をする意義や仕事に対する誇りを感じました。また、職員の方の明るく親切的な対応と、職員の方々の楽しそうな雰囲気から、職場の風通しの良さを感じたことも決め手になりました。

Q 職場の雰囲気は？

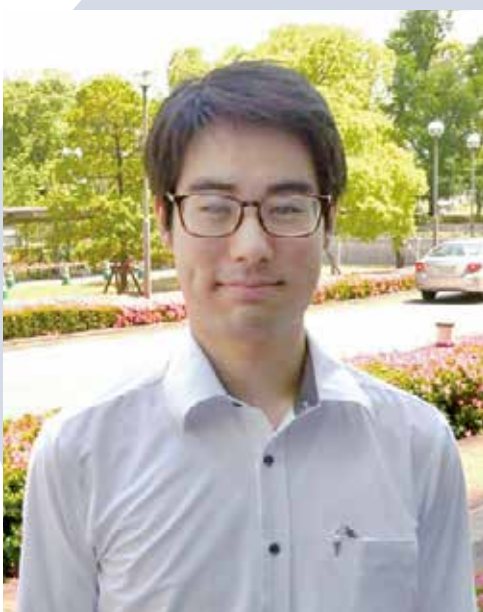
A 警察は上下関係が厳しく、体育会系という印象を抱く方が多いと思います。しかし実際は、優しく朗らかな方ばかりで、日々楽しく仕事をしています。分からないことについて上司は、親身になって教えてくださり、どうしたら円滑に業務を進められるかを一緒に考えて頂けるため、一人で悩まずに仕事ができます。一方で、社会人として必要な知識や礼儀を身につけることができ、人として成長できる場所だとも思います。また休暇の取得がし易く、時差出勤など個人に合った働き方が推奨されており、ワークライフバランスのとれた職場でもあります。

Q 今の仕事の内容と苦勞している点は？

A 庶務係に所属し、給与厚生業務を担当しています。給与業務では給与を毎月正しく支給することをゴールとして日々業務を行っています。毎月の給与支給日は待ってくれないので大変なこともありますが、余裕をもって業務を進められるよう意識しています。厚生業務では福利厚生面から職員を支えます。まだまだ分からないことも多いですが、上司や先輩方はもちろん、他府県の同期とも気軽に相談できるため、非常に心強い環境で働くことができます。

Q 志望者へのメッセージ

A 警察庁事務官は社会の安心安全を守る警察組織の基盤を支えるという、やりがいのある業務に携わることができます。福利厚生も整っており、私生活も充実した毎日を送ることができる職場です。警察組織というと警察官をイメージされる方が多いと思いますが、事務官も組織にかけがえのない存在の一つであり、警察職員としての誇りをもって仕事ができます。是非、警察庁の業務説明会や官庁訪問に参加してみてください。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



近畿管区警察局大阪府情報通信部
通信庶務課 係員
令和3年入庁



中国四国管区警察局警務課 係員
令和3年入庁

職員の1日

9:00
出勤

仕事の開始時間は9時ですが、早めの出勤を心がけています。基本的には自転車を使用していますが、天候によっては徒歩で出勤しています。私が勤める仙台市は都会ながらも緑が多く、朝のさわやかな空気と季節の変化を感じられます。出勤後はメールチェックとスケジュールの確認を行い、効率的に業務を行えるよう準備しています。

9:30
給与業務
厚生業務

私が所属する給与厚生係では、給与支給と職員の福利厚生のための業務を行っています。今日は、人事異動で他所属から異動となった職員から提出のあった扶養親族届や通勤届などの内容をよく確認し、確認を行った後はシステムに入力し、認定を行っていきます。同時に厚生業務では、職員の健康のために幅広いサポートを行えるよう日々一人一人に寄り添った対応を心がけています。

13:30
給与確認作業
ミーティング

入力した内容について誤支給が無いよう読み合わせによって確認していきます。内容に対して疑問点があった場合には、上司に相談し、係内でミーティングを行うことでしっかりと情報共有しています。管区は職員数も多いため、効率よく仕事をこなす能力が必要となり、日々自分の能力を高められるよう努力しています。

17:45
退庁

仕事を効率的に行うことで、定時退庁に努めています。業務の状況によっては残業等をするかもしれませんが、計画的に業務を行い、早めに帰宅できるようにしています。帰宅した後は好きな料理を自炊したり、同じ宿舎に住む先輩方と食事したりして、リフレッシュし楽しく自分の時間を過ごしています。

休日の
過ごし方

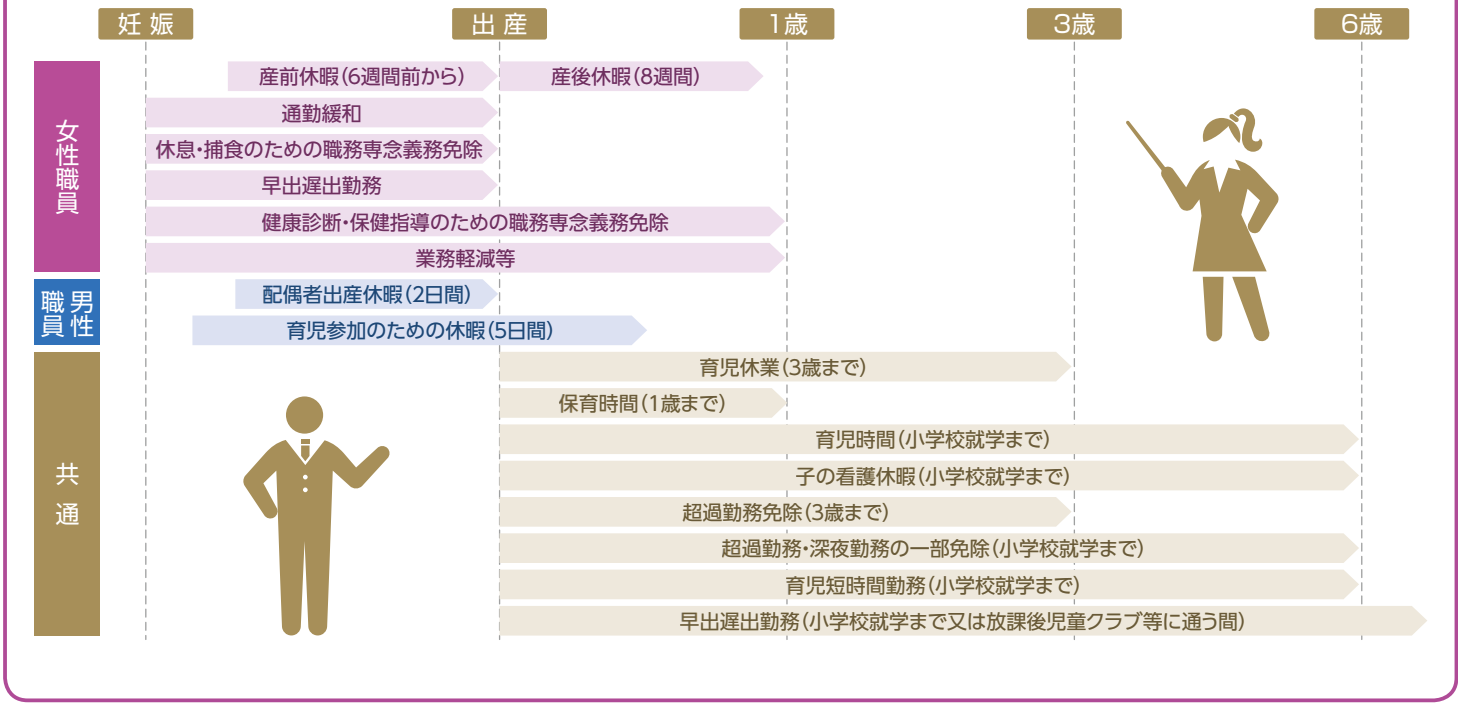
休日は、自宅でゆったりと過ごすこともあれば、連休に合わせて休暇をとり、趣味の旅行に出かけることもあります。旅行先は様々ですが、その地域に根付いた良さを感じ、日々の生活と離れることで気持ちもリフレッシュされます。休日を満喫することで、気持ちを切り替え、また仕事を頑張ることができています。

第4部

特集

ワークライフバランス

仕事と育児の両立のための支援制度



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制度等、ワークライフバランスを推進する制度があります。

男性職員から

北海道警察情報通信部機動通信課 主任
平成27年入庁

私は現在、機動通信課の管理係主任として、課員の勤務時間管理や出張旅費の支給計算など、庶務業務全般を担当しています。

今年の4月に長男が小学生になり、一日のスケジュールが大きく変わりました。長男が小学校、次男が保育園と別々の場所に通うことになり、妻も働いていることから、私と妻で子供の送迎を分担しています。最初は、勤務開始時間までに出勤できるのか不安でしたが、上司と相談し、勤務開始時間を30分遅らせることで、長男を学校に送り届けてから余裕を持って出勤できるようになりました。終業時間も30分遅くなりますが、夕食までに帰宅できるので私生活への影響はほとんどありません。何より、長男との登校時間は、学校での楽しかった話を聞き、うれしそうな笑顔を見ることができるとても貴重な時間であり、仕事への活力になっています。



また、育児をしていると子供の急な体調不良や行事のために仕事を休まなければならない場面もたくさんありますが、上司も何かあれば遠慮なく休暇を取得するように日頃から声を掛けてくれるので、安心して休暇を取得することができます。

このように、警察庁では、仕事と育児を両立させるための制度が充実しているほか、育児に関する休暇を取得しやすい雰囲気になっています。国民の安全安心を守るやりがいのある仕事に、育児と両立して携われる環境がここにあります。皆さんも是非、警察庁事務官として一緒に働いてみませんか。



タイムスケジュール

- 6:30 起床、出勤準備
- 7:00 子供起床、朝食、登校・登園準備
- 8:00 長男を小学校まで見送り（次男は妻と登園）、出勤
- 9:15 登庁
- 18:00 退庁
- 19:00 夕食、子供とお風呂、自由時間
- 21:00 子供の寝かしつけ、家事
- 23:00 就寝

勤務地等についてのQ&A

Q 勤務地について教えてください。

A 【警察庁本庁採用者】
警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合があります。
【各管区警察局等採用者】
管区警察局又は警察支局で採用された場合はそれぞれの本局及びその管轄区域内の府県で、東京都警察情報通信部又は北海道警察情報通信部で採用された場合はそれぞれの採用地での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合があります。

Q 研修制度について教えてください。

A 業務の「戦力」としての活躍が期待されているため、採用直後に新任研修を受けるほか、昇任の都度、必要な研修を受けるなど、系統的に能力の向上が図られています。また、情報通信部門等の各分野において必要な研修、教養を受ける機会も用意されています。

Q 休暇制度はどのようなものですか？

A 年間20日間（採用年は15日間）の年次休暇のほか、3日間の夏季休暇があります。結婚休暇等の制度もあり、いずれも有給休暇となっています。

Q 仕事と子育てを両立するための制度にはどのようなものがありますか？

A 育児休業のほか、産前休暇・産後休暇、配偶者出産休暇、育児参加のための休暇、育児短時間勤務、早出遅出勤務、子の看護休暇等の制度が整っています。

Q 福利厚生はどうなっていますか？

A 共済組合制度があり、各種保険、短・長期給付事業等、職員が安心して快適に職務に専念できるよう福利厚生の充実を図っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。

女性職員から

教養厚生課 主任
平成21年入庁

私は現在、教養厚生課庶務係で職員の給与、勤務時間管理に関する業務を担当しています。

育児休業から復帰し、現在は早出勤務制度と育児時間を利用しながら勤務しています。

私は、復帰と同時に所属異動となったため、新しい業務への不安や育児の制度を利用することで迷いがからないか等、様々な面で不安を感じていましたが、周囲の理解もあり、早出勤務等の制度を利用しやすい環境であること、同じ課内に子育てをしている先輩方がたくさんいるため相談しやすい環境であることが、仕事と育児を両立する上で私自身の支えとなっています。

子供の体調不良で休まなければならないこともありますが、期限の決まっているものや定例的なものは後回しにせずに早めに作業しておくこと、係内で業務の進捗状況をこまめに共有しておくことを日々心がけています。

平日は仕事と育児に追われ、あっという間に毎日が過ぎますが、休日の家族と過ごす大切な時間が日々の業務の活力となり、充実した毎日を過ごすことができています。

警察庁には、充実した制度、活用しやすい環境があります。困ったときに相談にのってくれる上司や先輩もたくさんいます。私も今までたくさんの方に支えていただきましたが、今度は皆さんを支えていきたいと思っています。皆さんも是非一緒に警察庁で働きませんか。



タイムスケジュール

- 5:30 起床、出勤準備
- 6:30 子供起床、身支度
- 7:00 朝食
- 7:40 登校見送り、保育園登園、出勤
- 9:00 登庁
- 17:00 退庁
- 18:00 保育園お迎え
- 18:30 帰宅
- 19:00 夕食、子供とお風呂、子供の宿題・連絡帳チェック、自由時間
- 21:00 子供寝かしつけ
- 22:00 家事
- 22:30 就寝